



聴覚に障害のある子どもへの指導・支援

補聴器の管理や使用上の注意点について

補聴器は、水や汗、衝撃に弱く故障の原因になります。

そのため、補聴器を保護するためにカバーをつけている児童生徒もいます。

<学校生活>

○雨の日・汗

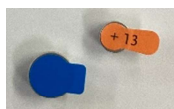
・濡れてしまった場合には、乾いた布でよく拭き、電池を取り外して乾燥させましょう。補聴器用の乾燥器を利用して乾燥させたり、乾燥ケースに入れたりしましょう。補聴器を乾かす時には、ドライヤー、直射日光は、熱が補聴器の故障に繋がりますので避けて下さい。児童が汗をかいている場合には、タオルで耳の周りや、耳穴、補聴器をよく拭くように低学年の場合は声掛けが必要な場合もあります。

○体育

・運動の時は、基本的には補聴器を装用できます。激しい運動は、補聴器の故障や怪我に繋がることもあるので、注意が必要です。水泳の時は、補聴器を外し、乾燥ケースに入れて保管しましょう。水泳後は、耳の中、髪の毛をよく乾かしてから、補聴器を装用しましょう。



密封できるケースに乾燥剤を入れ（乾燥ケース）、そこに電池を外して補聴器を入れましょう。
電池を入れたままだと、電池が減ってしまいます。
外した電池には、シールを貼っておきましょう。



【空気電池】



【乾燥ケース】

イヤモールド（耳栓）は使用者に合わせた専用の耳栓です。



【イヤモールド】

補聴器から「ピーピー」と音がします。

補聴器から「ピーピー」と音がする時は「ハウリング（音漏れ）」です。児童生徒は音が鳴っていることに気が付けないことがあります。そのため、音が鳴っていることを児童生徒に伝え、イヤモールドを耳穴にしっかり入れるように教えてあげてください。

耳にイヤモールドを押し入れても改善が見られない場合には、イヤモールドが児童生徒の成長に伴って大きさが合わなくなったり、ヒビ割れていたりする可能性があります。その場合には作り替えが必要になります。

